

# 人に優しく感謝の心を大切に 共に支え合う町を目指して



明けましておめでとうございます。二〇二二年の新しい年を迎え、町民の皆様のご多幸とご健勝を心からお祈り申し上げますとともに、日頃より町政にお寄せいただいたりしておりますご支援とご協力に對しまして、厚く御礼申し上げます。昨年三月、東北地方及び長野県北部を襲った未曾有の大地震は各地に大きな傷跡を残し、その深刻な被害の様子はまだ目に焼き付いて離れることはありません。そして原発事故による度重なる被害。様々な不安を抱えながら苦難な日々を過ごしておられる被災地域の皆様の一日も早い生活の再建、復興をお祈りいたしますとともに、甚大な被害に遭われた方々及び関係者皆様に改めて心よりお見舞い申し上げます。さて、伝統ある下諏訪の町政を担わせていただき、早いもので二期目も最終年を迎えようとしております。

## 「住民に寄り添った行政サービス」の実現へ

下諏訪町長 青木 悟

これからは初心を忘れることなく、基本理念であり、一人一人に優しく感謝の心を大切にしたいと、共に支え合う町を目指し、更なる町政発展のため、誠心誠意努めさせていただきます。今後とも町民皆様の変わりぬご支援とご協力を、お願い申し上げます。昨今の我が国の経済情勢は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にある中で、持ち直しの動きが伝えられておりますが、歴史的な円高水準や日米の国債の格下げ、更に欧州の財政危機の深刻化などが、回復基調にあった国内生産等に悪影響を与え、景気判断が下方修正されるなど、予断を許さない状況となっております。

町の活性化事業につきましては、防災機能を備えた赤砂崎の公園化事業が始まり、土地開発公社との連携を図りながら用地取得を進めてまいります。国の動向にも注視しながら先を見据えた行政運営を堅持していくとともに、健全財政構築の意識を強く持ちながら、将来のまちづくりに向け覚悟を持って事業に取り組んでまいります。住みやすくゆとりとまち歩きを楽しんでいただける、そんなまちを目指し進めている「街なみ環境整備事業」につきましては、地域の皆様のご協力のもと、湯田坂の整備が完了し、風情ある旧宿場町の景観が生まれ、成業と併せ、引き続き周辺の整備を進めてまいります。観光につきましても、観光振興計画に基づく観光振興局を儀象堂内に開設いたしました。関係団体との連携を強化しながら、選ばれ、そして愛される観光地づくりを目指してまいります。また、活用検討プロジェクト

クットの報告を踏まえ、体験プログラムの強化充実や観光案内所としての機能を持たせるなど、それぞれの役割に応じた施策を推進し、必要な改修等を進めてまいります。工業の振興につきましては、最先端の高度技術が集積する「ものづくりのまち」としての更なる発展を目指し、「ものづくり支援センター」の開設を推進いたしました。新分野・新市場への取り組み支援や情報発信強化の拠点としての役割を果たし、問い合わせや受注が増えている中、より一層、商工会議所との連携を深め、企業間の強固なネットワーク形成と工業の活性化を図ってまいります。農業を取り巻く環境は、高齢化や耕作放棄地の増加、またTTPの問題など、先行きの見えない状況にあり、生産者皆様のご努力には心から敬意を表します。今後も、JA信州諏訪をはじめ関係団体のご協力のもと、町の特色を生かした農業振興を進めてまいります。福祉施策といたしましては、改定された高齢者福祉計画、障害福祉計画に基づき、誰もが住み慣れた場所で安心して生活を送れるようサービスの充実を図るとともに、関連施策との調整を図りながら、社会福祉協議会などの関係団体や民生児童福祉委員、地域住民と連携して、協働と支えあいによる福祉のまちづくりを進めてまいります。二十一世紀の成熟した低成長時代の今、町はこれまで以上の健全財政構築と自主的かつ自立的に執行できる自治体経営を進める重要な時期を迎え、同時に、創意工夫のもと、一歩踏み出し、大きく飛躍できる時代を迎えました。この町を愛する町民一人ひとりが、それぞれの地域を認識し誇りをもちながら、歴史の重みと維持することの重要性を共有することが、魅力あるまちづくりの大きな礎になります。これからは多くの「宝」を活かしながら、「小さくてもきらりと光る美しいまち」の実現のため、精一杯邁進いたします所存でございますので、「まちづくりは住民が主人公」の言葉のもと、町民皆様の積極的な参画とご理解、ご協力をお願いいたします。

平成二十四年一月吉日

# 平成24年の新しい区長のみなさんです

◎区長会会長  
○区長会副会長

第5区  長崎 政直 さん (東高木)	第4区  岩波 渉 さん (湖畔町北)	第3区  ◎小口 照雄 さん (矢木東)	第2区  青木 茂 さん (湯田仲町)	第1区  ○伊東 修 さん (田中町)
第10区  吉澤 哲郎 さん (西豊)	第9区  白田 正夫 さん (星が丘第3)	第8区  小浜 雅利 さん (社東町第2)	第7区  増沢 民範 さん (東山田第4)	第6区  降旗 信夫 さん (萩倉西組)

## ごみ焼却量が減りました! ~ごみ処理等の状況のお知らせ~



町では、平成15年度の焼却ごみ量(8,043トン)に対し、平成27年度にはその30%減量(5,630トン)を目標に焼却ごみ量の減量推進に取り組んでいます。平成22年度の4月から9月まで(上半期)の焼却ごみ量は3,550トン、10月から翌年3月まで(下半期)は3,337トンとなりました。昨年4月からごみの有料化が始まり、9月まで(上半期)の焼却ごみ量は2,970トンとなり、前年同期に對して、580トン(16.3%)の減量となりました。町民の皆さん一人ひとりのご協力と、ごみ減量の意識の高さで、今年度末(3月)には平成27年度の目標数値に到達出来そうです。今後もこれまで以上に、ごみ分別の徹底を図り焼却ごみの減量と資源物量の増加にご協力をお願いします。

●ごみ排出量

区分	種類別のごみ重量(t)	合計重量(t)	1日の平均排出量(t)	町民1人当たり年間ごみ排出量(kg)		
平成22年度	4~9月(上半期)	焼却ごみ 3,550 埋立ごみ 39 資源物 704	4,293	19.4 0.2 3.8	196.8 (21,809人) 7/1住基人口	
	10~3月(下半期)	焼却ごみ 3,337 埋立ごみ 78 資源物 706	4,121	18.3 0.4 3.9	189.4 (21,760人) 1/1住基人口	
	平成23年度	4~9月(上半期)	焼却ごみ 2,970 埋立ごみ 21 資源物 685	3,676	16.2 0.1 3.7	169.5 (21,681人) 7/1住基人口

■お問い合わせ先 町清掃センター 電話27-9240

平成23年度ダイオキシン類等測定結果

●最終処分場排水(単位:pg-TEQ/L)

調査箇所	測定結果	環境基準	
砥沢最終処分場	0.077	1.000	
町屋敷	南側河川	0.240	1.000
	北側河川	0.240	1.000

●焼却灰(単位:ng-TEQ/g)

平成23年度	測定結果	排出基準
ダイオキシン類	0.0014	3.0000

●焼却炉(排出ガス中)(ng-TEQ/m<sup>3</sup>N)

調査項目	1号炉	2号炉	排出基準
ダイオキシン類	0.59	0.60	5.00
ばいじん(g/m <sup>3</sup> N)	0.006	<0.005	0.150
塩化水素(volppm)	22	15	700